

生成AI利用実態調査アンケート2025

結果報告

実施期間：2025年9月19日-10月2日

対象者：全学生

主催：IT活用教育センター



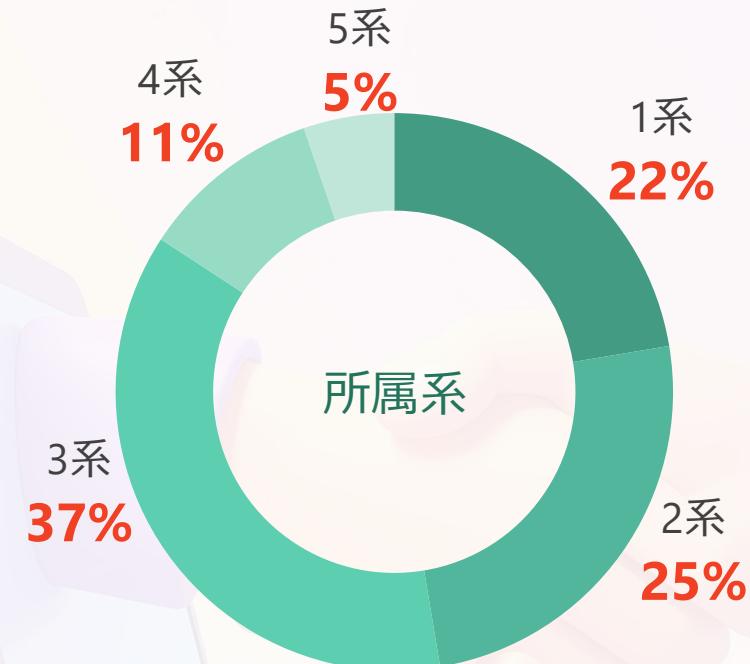
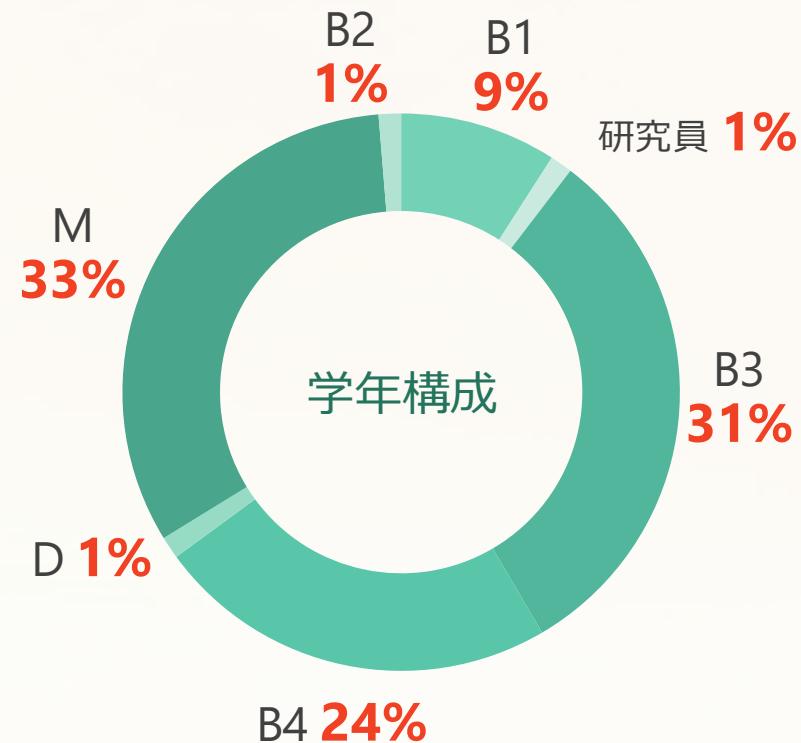
■ 調査の目的と背景

本調査は、2025年9月19日～10月2日に全学部・全学年の学生を対象として実施したもので、生成AI（ChatGPT等）の利用実態や意識、課題を明らかにし、今後の教育方針や支援の策定に活かすことを目的としています。

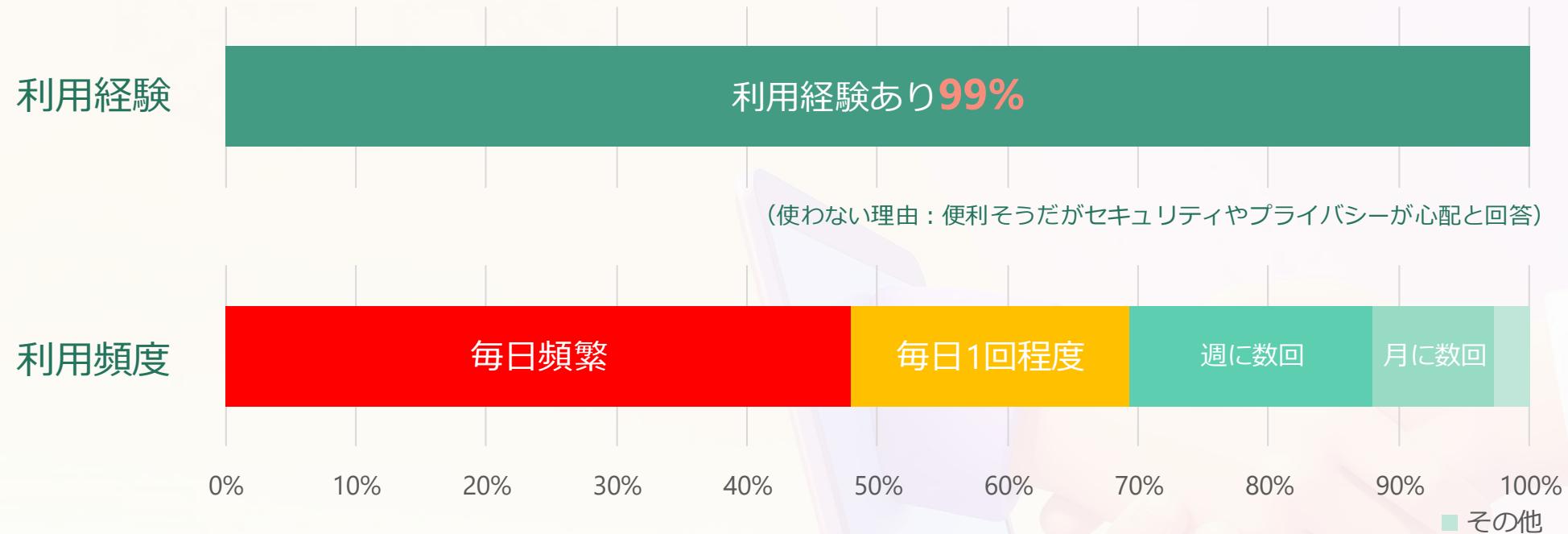
調査の設計は、2024年に本学で公表された「生成AI利用に関する基本方針と留意事項」に基づいており、授業や課題における生成AIの適切な活用方法を検討するための基礎資料となります。

■ 回答者の基本概要

回答総数：76 件

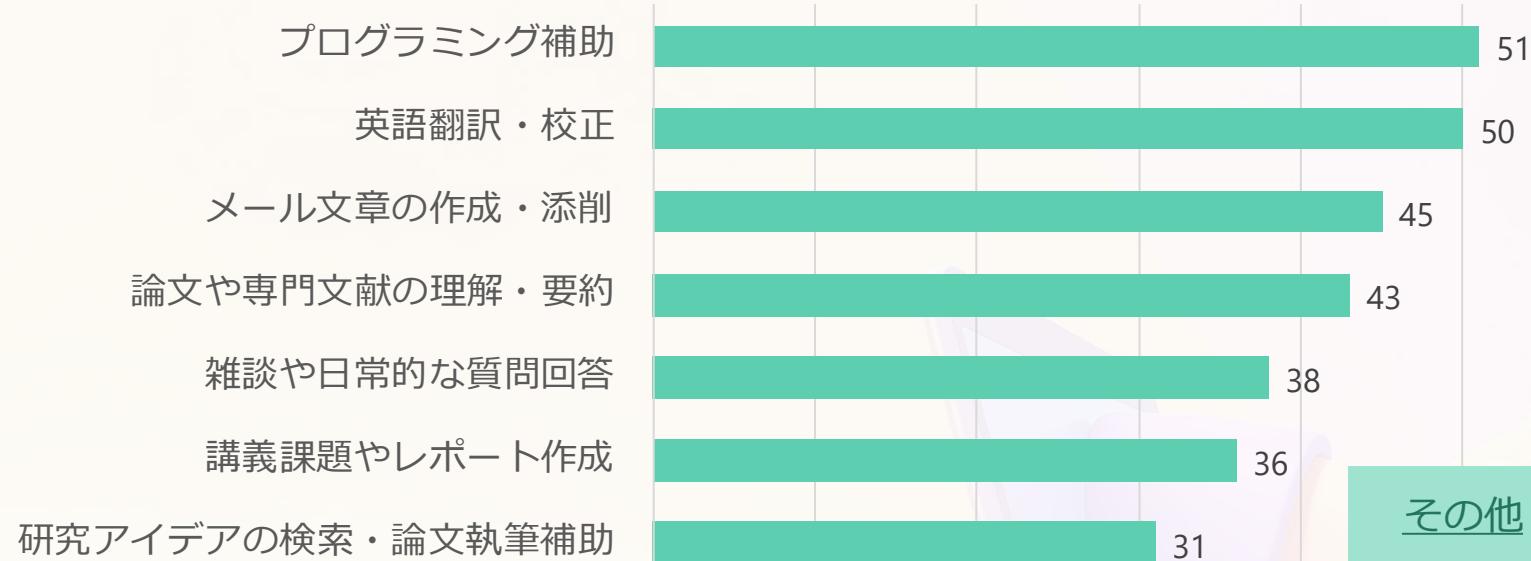


■ 生成AIの利用経験・頻度



約9割が生成AIの利用経験あり。そのうち約7割は「毎日」利用すると回答。

■ 生成AIの利用目的（複数選択可）

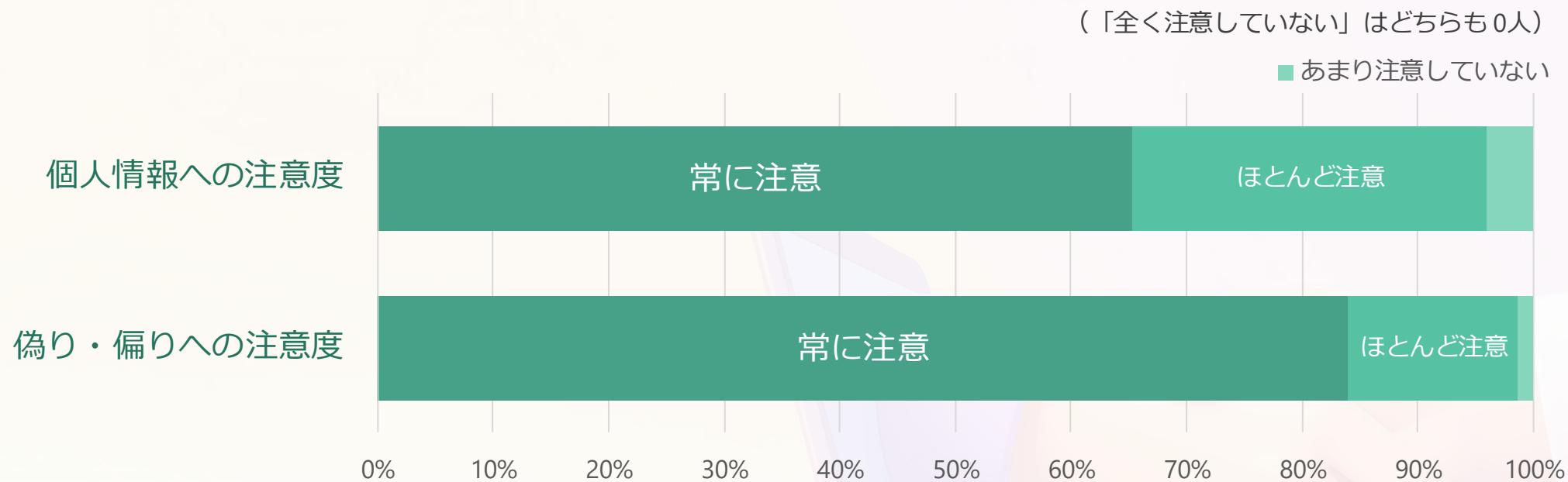


その他

- ・ 趣味の制作（文章/イラスト/デザイン/音楽）
- ・ メンタルケア
- ・ 英語学習の補助 など

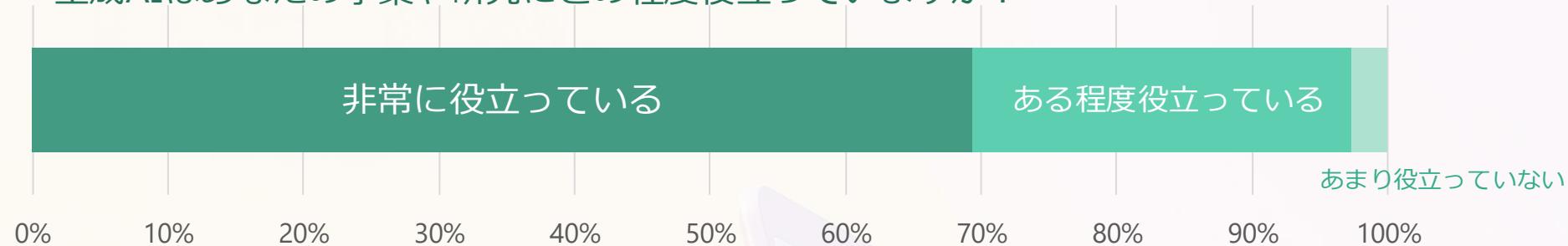
学修・研究補助だけでなく、日常用途にも広く浸透。

■ 生成AI利用に対する意識



■ 学習・理解への影響認識

■生成AIはあなたの学業や研究にどの程度役立っていますか？



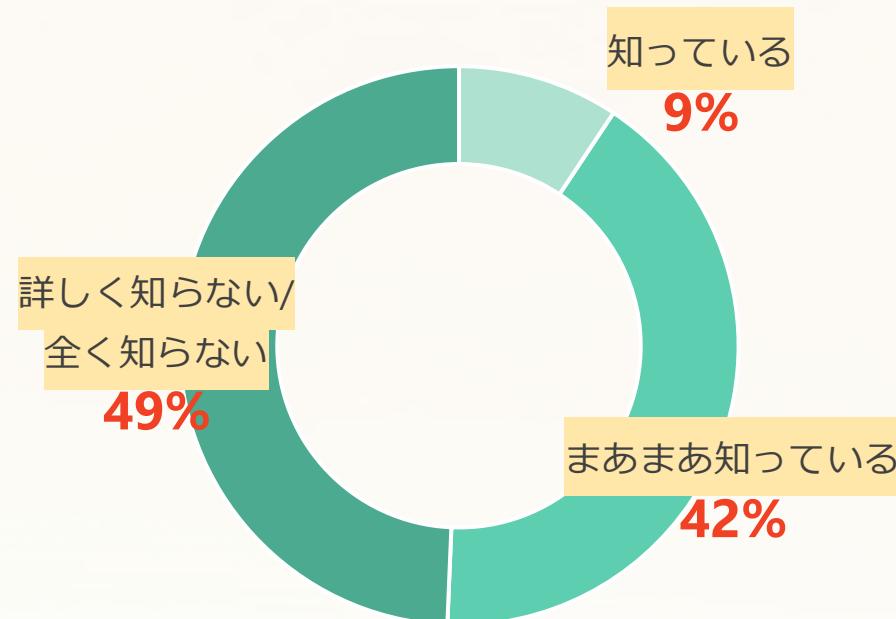
■生成AIの利用により、自分の理解やスキルが十分伸びていないと感じることはありますか？



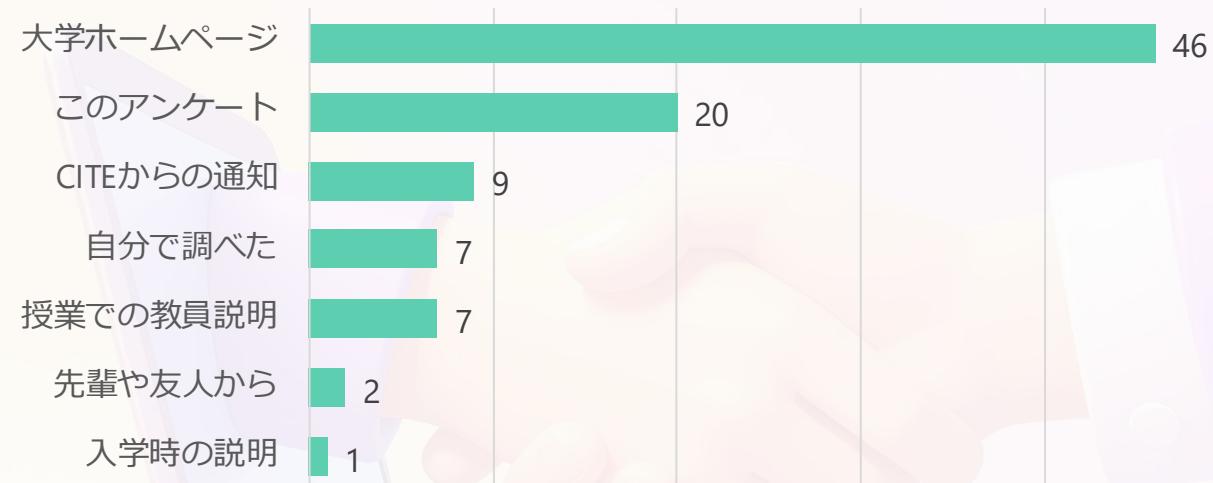
多くが「役立つ」と回答する一方で、「理解が浅くなる」懸念も。

■ 大学方針の認知度

■ 技科大が公表している
「生成AI利用に関する基本方針とその留意事項」を知っていますか？



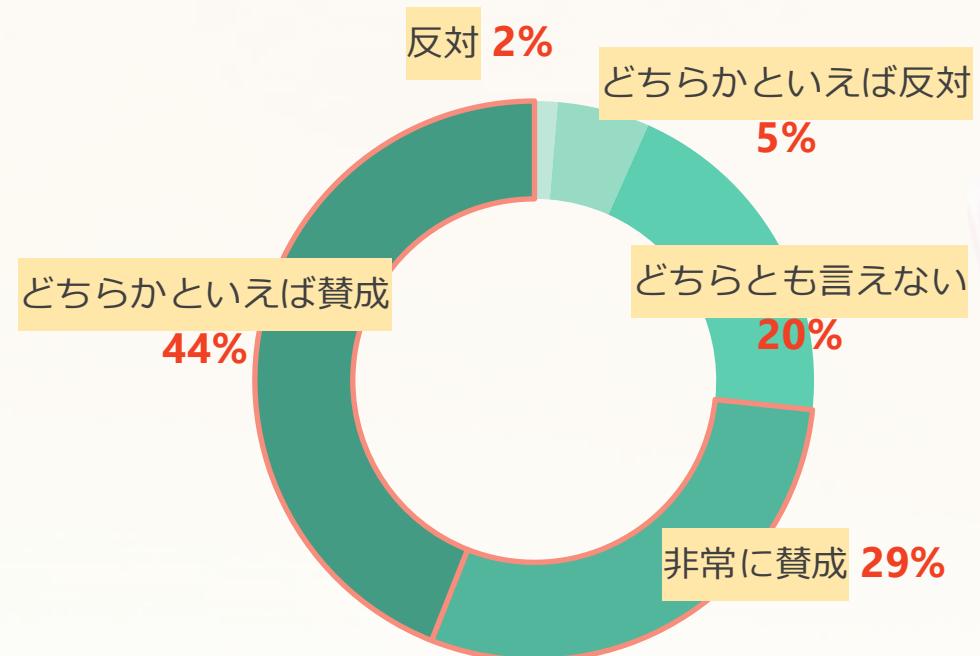
■ どのように知りましたか？（複数選択）



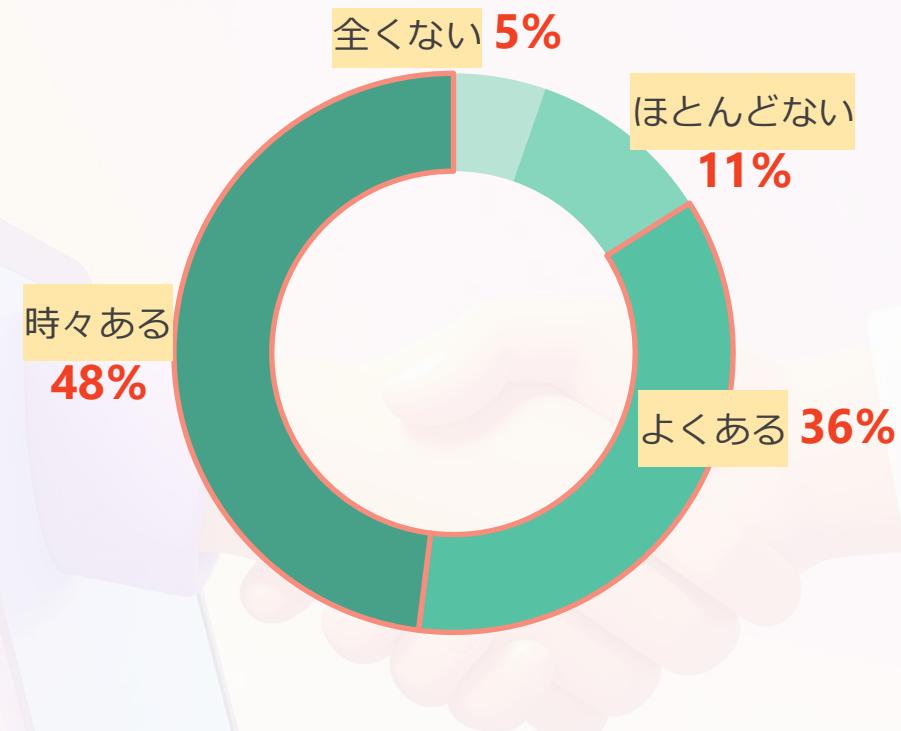
方針周知が十分でない。情報発信の経路を再検討する必要あり。

■ 生成AI利用ルールに関する考え方

■課題で生成AI利用を明記する推奨についてどう思うか？



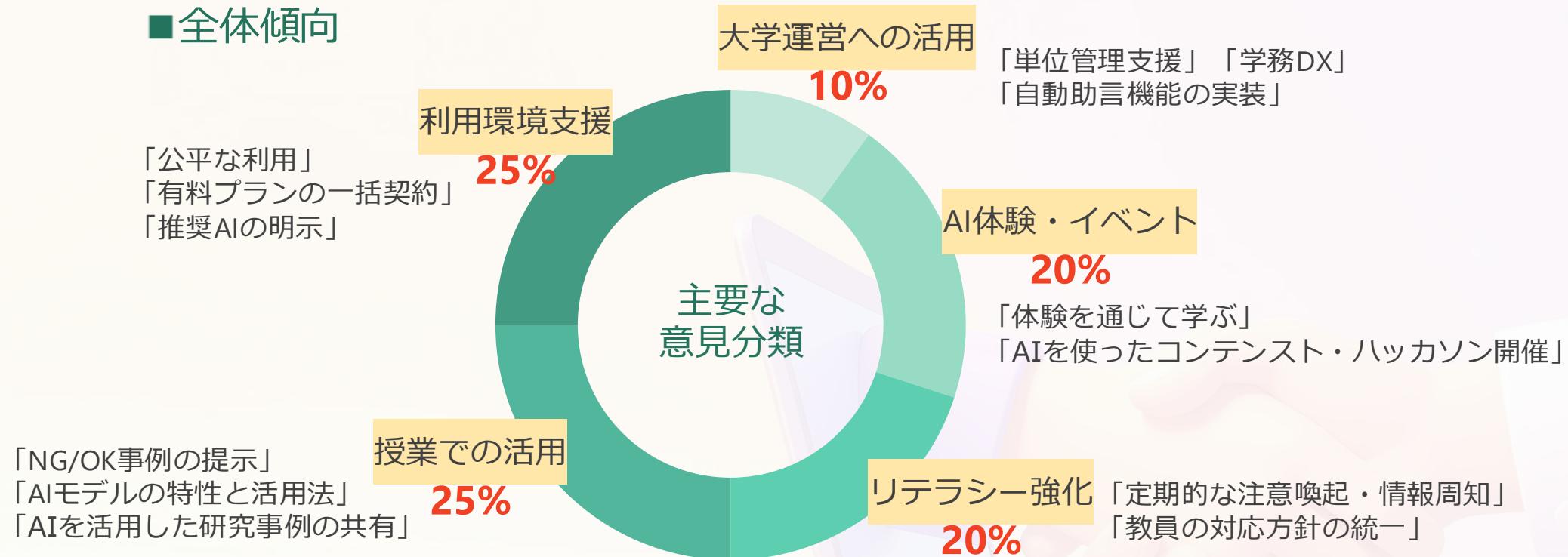
■剽窃・不正とみなされる懸念は？



多くの学生は“明示ルール”に賛成しており、生成AI利用時に剽窃・不正の懸念も感じている。

■ 学生の声（自由記述）

■ 全体傾向



生成AI活用に対して学生からは「体験を通じた理解・公平な利用環境・適切利用の明確化」を求める声が多く寄せられた。禁止や制限ではなく、大学とともに「正しく活用する方法を学びたい」という前向きな意見が中心である。

■ 学生の声（自由記述）

■ 代表的な学生コメントから見るポイント

体験・教育面

「学部生のうちに実際にAIを体験できる場があると、研究室配属後の活動に役立つ」

「生成AIの使い方やAIモデルの種類、分野ごとの特性を授業で学びたい」

→ 体験と学びの両輪でAIリテラシーを身につけたいという声が強い

安全・倫理面

「使い方次第でデータ流出や剽窃になる。定期的に注意喚起してほしい」

「不適切利用の線引きを明確にして、過度な規制は避けてほしい」

→ “禁止”ではなく、“安全に使える環境づくり”を望む意見が多い

利用環境・公平性

「大学でGeminiの有料プランを契約してほしい」

「定額制と無料版では性能差が大きい。大学が一括契約して利用を促してほしい」

→ 経済的格差を超えた公平な利用環境の整備を強く求めている

大学運営への期待

「AIで単位取得状況を助言してくれる仕組みを」

→ 学生支援や教務のDX化への期待もみられる

■ 今後の方針性・提言

観 点	今後の取り組みの方向
教育・リテラシー支援	生成AIの使い方・リスク・分野特性を体系的に学べる授業・講習会の実施
実践的体験機会の提供	生成AIハッカソン・アイデアコンテストの開催、AIを活用した研究成果共有会
安全な運用体制	利用ルールとOK/NG事例を整理したガイドラインの作成と周知（学生・教職員）
公平なアクセス環境	有料AIの一括契約・推奨AIの公表・企業とのライセンス連携
学内DXの推進	履修支援や学務システムへのAI活用など、大学側での積極的導入

■ この後の課題と提案（まとめ）

本調査から、生成AIの利用拡大とともに「教育上の位置付け」への戸惑いが浮き彫りとなりました。今後は、以下の3点を重点的に検討する必要があります。

1. ルールの明確化 … 授業・課題での統一的指針の整備
2. AIリテラシー教育 … 信頼性・倫理・責任を体系的に学ぶ機会の提供
3. 教育実践支援 … 教員向け研修や活用事例の共有

これらを通じて、生成AIを「禁止」ではなく「正しく使いこなす」方向へとシフトし、学生の主体的な学びを支える大学全体の仕組みづくりが求められます。